

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所 ステップあそかの園		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害特性の外部研修や内部研修を行う事によって、特性に応じた支援を考え、実行している事。又、強度行動障害の状態にならないように、環境調整を行ったり、支援の組み立てを、全職員の参画の上で行っている事。	特性を理解し支援していく事が障害児支援を行う為には必須であると考えている。そのためには、学ぶ姿勢を常に持つよう心掛けていく。	職員の経験や習熟度によって必要な学びを得る事ができるよう計画的に研修を受けていく。
2	発達支援室や学習室、又、広い園庭を利用しながら、安心安全に支援を展開できる事。 又、それらの環境を上手く利用する事で、子ども達の状態に合わせた、場面の切り替えや環境調整を行いながら支援を展開できる事。	子ども達の状態や、関係性を踏まえた上で、活動を行う場所や場面を切り替えが行えるよう考慮している。	アセスメント力の強化を行い。必要な支援に繋がれるよう取り組みを行う。
3	法人理念である。「人皆はらから」の理念の下、各職員が法人の大切にしたい3つの心である「優しい心」「ふれあう心」「温かい心」を実際の行動として具体化し、実践している。又、そのおもいを、日々の支援に活かしている事。	法人で「スタイルブック」を準備し、理念の浸透や、理想の人財像を意識しながら人材育成に取り組んでいる。	様々な学びや、経験を「スタイルブック」に紐付ける事で実際の行動や、支援のあり方を常に意識できるよう事業所での展開を進めて行く。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の有無について	一事業所では難しいと考えており、市の協力など必要ではないかと考えています。	市の自立支援協議会「子ども部会」等で取り上げていけると良いと考えます。
2			
3			